

表 第 18 回 学生・教員相互触発型授業の検討会での講演者

| 学科        | 科目名                    | 講演者       |
|-----------|------------------------|-----------|
| 物質生命化学科   | 「定性分析実験」 1年／必修         | 鯉沼 陸央 准教授 |
| マテリアル工学科  | 「腐食と電気化学」 2年／必修        | 山崎 倫昭 准教授 |
| 機械システム工学科 | 「機械製図および CAD 演習」 1年／必修 | 佐田富 道雄 教授 |
| 建築学科      | 「建築環境工学演習」 3年／自由選択     | 川井 敬二 准教授 |
|           | 「建築設計演習第四」 3年／必修       | 桂 英昭 准教授  |
| 情報電気電子工学科 | 「基礎数学演習 第一 (B組)」 1年／必修 | 末吉 哲郎 助教  |
| 数理工学科     | 「統計科学第二」 3年/選択必修       | 高田 佳和 教授  |
| 機械システム工学科 | 学生 4年                  | 西岡 大輝 氏   |
| 情報電気電子工学科 | 学生 4年                  | 松崎 貴之 氏   |

## (2) FD 特別講演会の実施

以下の2つの FD 講演会特別講演会を実施した。

### 1. 平成26年度第1回自然科学研究科・理学部・工学部FD講演会

主催:自然科学研究科・理学部・工学部FD委員会

日時:平成26年8月26日(火)12:50～14:20

会場:工学部1号館2階共用会議室A

対象者:大学院自然科学研究科教職員、学生

参加者:35名

タイトル:クリエイティブ・マインドセット ～市場をつくる～

講師:瀬戸英昭氏(熊本大学イノベーション 推進機構 特任教授)

講演概要:

今日、理工系博士人材(修士と博士)の育成は、我が国にとって大変重要であるとされており、今後 の我が国の産業界を活性化するために不可欠であると言えます。このような現状を鑑み、専門性を高める教育に加えて、「ものの考え方」、「マネジメント力」、「イノベーション力」といった分野を横断する教育の重要性について考えてみたいと思い、現在熊本大学イノベーション推進人材育成センターに在籍されている 瀬戸英昭先生に、上記のような教育内容およびプログラムの必要性についてご講演頂いた。

### 2. 平成26年度第2回自然科学研究科・工学部・理学部FD講演会

主催:自然科学研究科・工学部・理学部FD委員会

日時:平成26年9月12日(金)10:30～11:50

会場:工学部1号館2階共用会議室A

対象者:大学院自然科学研究科教職員、学生(含、平成26年度5大学連携教育シンポジウム参加者)

参加者:71名

タイトル:「コーチング導入の試み～社会環境工学科の取り組み～」

講師:椋木俊文氏(熊本大学大学院自然科学研究科 准教授)

織方剛氏・原口理加さん(コーチングブリッジ)

講演概要:

ツールの進歩や過干渉、指示命令過多により、「コミュニケーション下手」「指示待ち」「マニュアル」人間を世の中に送り出しているのは、我々おとなである。

価値観がダイナミックに変化している社会にどんな人材を育成する必要があるのか、日常で学生とどう関わるといいのか、「自らイノベーションできる人間」を育てるには。大手企業は既に必ず導入している「コーチング」のメソッドを学び、今後の教育のありかたを考えた。